

【研究概要】

電気けいれん療法（ECT）は治療を重ねるごとに発作閾値が上昇する。ECTの有効性には発作活動の誘発が不可欠であり、発作閾値が上昇し適切な発作が誘発できなくなることは、症状改善を大きく損なう。このような対応に関して調べた臨床試験は乏しく、臨床でどのような対応が用いられているかは分かっていない。このため、我々は本邦の専門家を対象に、ECTにおいて発作誘発困難状況に陥った際の、具体的な対応を集約し、エキスパートコンセンサスを作成することを目的にオンライン調査を行うことを計画した。